

- 第8回（9月）定例会・・・P2～5
- 第7回、第9回臨時会・・・P6
- 一般質問・・・・・・・・・・P7～11
- 編集後記、主な議会活動・・・P12

## 産山で見られる野山の花 11

アソノコギリソウ（阿蘇鋸草） 「キク科 ノコギリソウ属」

九州の山地の草原に分布する多年草。  
花期は7～9月、白色または淡紅色の頭花を咲かせ、頭花は直径12～13mm。  
レッドデータブック環境省カテゴリで、準絶滅危惧（NT）となっている。  
名の由来は、葉がノコギリに似ており、九州にしか自生していないことから。

# 令和5年9月定例会

令和5年第8回定例会が9月8日から15日まで開催され、村からの上程議案19議案が審議され、全会一致で可決しました。

## 令和5年度一般会計補正予算(3号)

補正予算8,927万円が追加され、総額23億6,643万円に

### ■ 主な歳入

○村税	3,839万円
○分担金及び負担金	2万円
○使用料及び手数料	270万円
○国庫補助金	1,727万円
○県支出金	1,483万円
○財産収入	694万円
○繰入金	△9,587万円
○繰越金	9,216万円
○村債	1,283万円

### ■ 主な歳出

○総務費	483万円
○民生費	2,605万円
○衛生費	114万円
○農林水産業費	68万円
○商工費	250万円
○土木費	280万円
○消防費	149万円
○教育費	30万円
○災害復旧費	340万円
○諸支出金	4,608万円

(\*万円以下は、調整)

## 令和5年度各特別会計補正予算

会計名	補正額	補正後の予算額	補正の主な理由及び事業
国民健康保険特別会計(第1号)	174万円	2億908万円	国民健康保険システム改修委託料の追加
後期高齢者医療特別会計(第1号)	74万円	2,934万円	前年度繰越金の確定や保険料還付金の確定
簡易水道事業特別会計(第1号)	153万円	8,235万円	前年度繰越金の確定
診療所特別会計(第1号)	355万円	7,505万円	前年度繰越金の確定や医業費の追加
介護保険特別会計(第1号)	4,755万円	3億965万円	前年度繰越金の確定や諸支出金の追加
うぶマート事業特別会計(第1号)	△34万円	47万円	在庫買取の確定

(\*万円以下は、調整)

## 9月定例会（主な議決事項）

### 保育園空調機更新工事

1,650万円



保育園の空調設備が更新の時期となり、当初予算にて850万円を計上していたが、物価高騰や燃料等の高騰により設備を電気とガスで比較した場合ガスの方が有利となるための増額。（全額地方債）

### 最適土地利用総合対策事業

1,230万円



儲かる農業を目指して、地域の課題や将来の土地利用の最適化のため、本年度は土地利用基盤図作成、省力化機械導入実証事業、地下灌漑システム整備、草地等粗放的利用防護柵設置に取組むもの。（全額国補助）

### 池山水源駐車場進入路拡幅工事

210万円



池山水源駐車場への進入路の幅員が狭いため、大型車両等の出入りの改善を図るための道路の拡幅。（全額一般財源）

### 地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金事業

471万円



地域密着型特別養護老人ホーム「なでしこの里」の災害時における非常用電源確保のための発電機の設置。（全額国補助）

## その他主な議案

#### ○報告第5号 「株式会社うぶやま」の経営状況報告について

**要旨** 株式会社うぶやまの令和4年度決算の報告。（詳細については、広報うぶやま10月号に掲載）

#### ○報告第6号 「株式会社うぶやま」の経営状況報告について

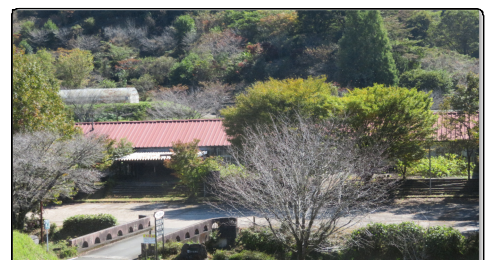
**要旨** 株式会社うぶやまの令和5年度第1四半期の報告。

#### ○議案第43号 産山村ほうれんそう学校の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

**要旨** すでに耐用年数を経過しているほうれんそう学校のハウス1号、2号棟について、過疎債の償還が終わり、就農者の定住継続と営農支援を目的に条例を改正し、無償譲渡するもの。

#### ○議案第44号 指定管理者の指定について

**要旨** 村の懸案事項となっていた花の温泉館の公募を行い、指定管理者が（株）阿蘇ローズガーデンに決定した。  
グランピング&ホテル、コワーキングスペース&多目的スペース、休憩室・簡易炊事室、サウナ専用スペース、温泉、オートキャンプ場として利用予定であり、オープンは来年の7月の予定。



来年7月からリニューアルオープン予定の花の温泉館

# 9 月 定 例 会 質 疑 応 答

補正予算から

**【問】** ヒゴタイ公園のミソハギ定植等50万円は、ブルービリーの個体数の増加が期待されると思うが、公園職員と意思疎通を図りながら進めていくことが2年前にクラウドファンディングで寄付を頂いた方への報告になると考えるが。

**【答】** ミソハギ等定植委託については、エリアを造成する事業で3月まで行い、来年の当初予算で花苗を植えるようにしている。  
花苗代はクラウドファンディングでいただいた寄付を利用し、その旨をホームページに掲載する。

**【問】** 最適土地利用総合対策事業で5地区を選定することであるが、地区はどこか。  
また、同事業の内容を尋ねる。

**【答】** 中山間協定20協定を対象に5地区で行う。

委託事業として、省力化機械の活用や法面等の自動草刈りなどに取組んでみた地区があれば、実証したい。  
また、地下灌漑システム整備工事については、田で水稲以外の作物を作る際に排水施設が整備されていない問題がある。そのため、地下灌漑システムについては地域の意向を確認しながら実施したい。

令和4年度決算認定から

**【問】** 住宅使用料の未納対策として、ある自治体では、住宅入居期間を入居後5年、それから継続する場合は3年という条例にしている自治体もある。本村でも適宜にやってみていくべきではないか。

**【答】** その方法も一つの方法だと思う。民間では、2年で更新をしている。村でも検討していきたい。

**【問】** マイナンバーカードは、保険証として活用できると思うが、村民への周知はどのようになっているか。

**【答】** マイナンバーカードからの金融機関等への結び付けは、カードの交付時に照会したが、保険証についての照会はない。産山村診療所においては、マイナンバーカードを所持していれば初診が何円か安くなるため、住民には案内をしている。



診療所に設置されたマイナンバーカード用 カーリーダー

**【問】** 避難所の備品で、AEDを3台更新しているが、更新箇所はどこか。また、AED使用の講習会は行っているのか。

**【答】** 更新箇所は、田尻地区公民館、片俣区公民館、役場窓口。

AEDの設置箇所については、広報の折込にて案内を行った。  
講習会については、各地区を回るような講習会は行っていないので、今後検討したい。

**【問】** ウサギ追いについては、色々な批判があり、今年度は中止することとなったが、今後の方針を示した方が良いのではないか。うさぎは有害鳥獣であり、農林業者は被害を受けているということを周知するなど、単純に伝統文化だから継続するのではなく、被害を被っている事実を公にしてきちんと方針を出すべきでは。

**【答】** 今年度中には結論を出したい。

**【問】** 診療所について、患者が受診に来た際に、車が置けない話を聞く。診療所専用のラインを引けば、診療所の受診者以外は止めないと思うが、どうか。

**【答】** 同様の意見を聞くので、患者さんが駐車できるスペースを確保できる対策を検討する。



議会後、診療所専用のオレンジラインを整備

## 令和4年度決算に伴う監査員からの報告抜粋

令和4年の決算で一般会計については、歳入歳出差引額121,173,847円の黒字となっている。

これは、風力発電事業が終了し、それに伴う一般会計への繰入れや新型コロナウイルス感染症、物価高騰対策事業に伴う各種現在行っている事業への充当により基金繰入が少なくなったものと考えられるが、実質収支額も黒字となっており、本村の財政収支は健全な状態にあると言える。

一般会計歳入における村税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入の収入未済額は42,324,512円で、414,895円の増加となっており、要因として、分担金及び負担金、使用料及び手数料が、増額傾向にあるため、今後も分納計画を立て徴収に努力していただき、完納されている方との不公平感がなくなるよう、さらなる未収対策の取組強化が必要であると考えている。

基金の状況については、昨年度に比べ、基金総額で対前年度比110%、総額127,247,455円の増となった。

また、ふるさと寄付金については、令和3年度に比べて大きな伸びを示し、これは、ふるさと納税への関係者の努力の成果であり、今後もふるさと納税の更なる周知・啓発を望む。

地方債年度末残高の推移では、過疎債は、昨年度とほぼ同額ではあるが、一般単独事業債や公営住宅建設事業債については全額償還となるため、事業の計画にあたっては、補助事業を採択するなど起債の圧縮に努めていただきたい。

最後に、本村の財政状況は、新型コロナウイルス感染症や物価高騰などの長引く影響により依然として厳しい状況下にある。今後目を向けてみると、円安や物価高騰などといった景気を下振れさせるリスクの動向に留意する必要があり、持続可能で安定的な財政運営を堅持していくため、国、県と基調を合わせた行政改革の取組がより一層求められている。

こうした中、令和5年度予算では、引き続き物価高騰対策に万全を期すとともに、地域経済の回復を図ることを目指しつつ、本村が直面する人口減少・少子高齢化、デジタル技術を活用した生活の変化、環境問題への意識の高まりなど、時代の変化に沿った取組を推進するとともに、「うぶやま未来計画」のもと5つの戦略に取り組み、将来にわたる財政の健全化に努めていただくことが重要である。また、将来に向けた健全財政の堅持と更なる村民福祉の向上に向け、職員一人ひとりが村政の担い手として責任感と使命感を持ち、創意工夫を凝らした行財政運営の推進に努められたい。

令和5年9月7日 代表監査委員 中村 祐介

\*令和4年度の決算書の詳細については、「広報うぶやま10月号」に掲載

議選監査委員 渡辺 裕文

## 9月定例会上程議案

議案番号	議案名
報告第5号	「株式会社うぶやま」の経営状況報告（令和4年度決算）について
報告第6号	「株式会社うぶやま」の経営状況報告（令和5年度第1四半期）について
認定第1号	令和4年度産山村一般会計歳入歳出決算認定について
認定第2号	令和4年度産山村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
認定第3号	令和4年度産山村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
認定第4号	令和4年度産山村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
認定第5号	令和4年度産山村診療所特別会計歳入歳出決算認定について
認定第6号	令和4年度産山村介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
認定第7号	令和4年度産山村風力発電事業特別会計歳入歳出決算認定について
認定第8号	令和4年度うぶマート事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第43号	産山村ほうれん草学校の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
議案第44号	指定管理者の指定について
議案第45号	令和5年度産山村一般会計歳入歳出補正予算（第3号）について
議案第46号	令和5年度産山村国民健康保険特別会計歳入歳出補正予算（第1号）について
議案第47号	令和5年度産山村後期高齢者医療特別会計歳入歳出補正予算（第1号）について
議案第48号	令和5年度産山村簡易水道事業特別会計歳入歳出補正予算（第1号）について
議案第49号	令和5年度産山村診療所特別会計歳入歳出補正予算（第1号）について
議案第50号	令和5年度産山村介護保険特別会計歳入歳出補正予算（第1号）について
議案第51号	令和5年度うぶマート特別会計歳入歳出補正予算（第1号）について

## 令和5年7回臨時会

令和5年第7回臨時会が8月8日に開催され、契約議案1議案を審議し、全会一致で可決しました。

### 議案第42号 物品購入契約の締結について 契約額 1,712万円

**要旨** 災害時や渇水等における飲料水の確保のために給水車を購入予定であるが、700万円を超えるため、議会の議決（地方自治法第96条第1項第5号の規定）を行ったもの。



## 令和5年9回臨時会

令和5年第9回臨時会が10月3日に開催され、条例議案1件が審議され、全会一致で可決しました。

### ○議案第52号 阿蘇やまなみ地区堆肥製造施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する 条例について

**要旨** 村の堆肥製造施設について、施設の名称を「産山村堆肥製造施設」へ名称を変更するとともに施設の利用規定について変更したもの。

今後は、肥料の価格が高騰しているため、当施設で製造された堆肥の有効活用が期待されます。



本年度堆肥センターに整備されたトラクター・マニースプレッダー・ショベルローダー

## 阿蘇広域行政事務組合 令和4年度決算の報告について

令和5年10月26日に、大阿蘇環境センター未来館において、阿蘇広域行政事務組合の定例会が開催され、令和4年度阿蘇広域行政事務組合の決算が承認されました。

なお、本村の最終負担額については、以下のとおりです。

(万円以下は調整)

項目	一般管理	介護保険対策	障害支援対策	火葬事務	火葬施設	環境総務
産山村	232万円	78万円	17万円	21万円	203万円	45万円
阿蘇広域全体	9,906万円	6,969万円	734万円	782万円	5,331万円	1,688万円

項目	清掃施設	最終処分場	清掃施設	し尿処理施設	消防	合計
産山村	2,733万円	82万円	12万円	749万円	3,963万円	8,135万円
阿蘇広域全体	7億9,905万円	2,305万円	9,235万円	3億5,484万円	10億335万円	24億8,674万円

\*産山村の負担額は、前年比103.6%（281万円）の増

# 村政を問う

Q

帯状疱疹ワクチン接種に助成しては。

A

県などに要望していく。



井 芳美  
議員

【村長】 帯状疱疹ワクチン予防接種については、各市町村で十分な対応ができておらず、助成まで行っていない状況である。これは、やはり国が積極的に取り組む必要があると私自身は思っているが、現時点ではそこまでいっていない。今後、阿蘇市町村会を通じて県などに要望していくことが私の仕事であると思っている。

【議員】 近頃、コロナ等で体力が落ちた方で帯状疱疹を発症する患者が徐々に出てきている。帯状疱疹ワクチン予防接種費用の一部助成を検討するべきではないか。

■帯状疱疹ワクチン予防接種費用の一部助成について

## 帯状疱疹とは

帯状疱疹とは子どもの頃に水痘症に感染後、体の神経の感覚神経に潜伏していた水痘帯状疱疹ウイルスが加齢、疲労、ストレスとそういった、何らかの要因に基づいて免疫が下がり、再活性化して再発する病気となっており、50歳を過ぎたころから急増すると言われている。症状を1回発症すると、体の左右どちらかに水ぶくれのような疼痛を伴うような皮膚の症状が現れるのが特徴で、特に神経を傷つけてしまうと皮膚症状が治った後も3か月以上疼痛が続く、帯状疱疹後神経痛や視力低下、難聴又は顔面の神経麻痺などの症状が生じる。

【住民課長】 通常のインフルエンザ及びコロナワクチン接種と同じで個々で日程を決めて接種となる。

【議員】 予防接種は、補助がなくても産山診療所で接種は可能か。

Q

移住定住促進のため補助金の増額を。

A

移住定住をプロジェクトチームで考えていく。

【議員】 農業新聞に、若い世代が100人以上移住してきた町が掲載されていた。後継者のため家のリフォーム補助を嵩上げし、若者たちが住み良い環境で家に帰って、農業ができるよう整えていただきたい。

【村長】 現在、移住定住促進に関するプロジェクトチームを組織し、総合的に検討している。また、空き家改修についても、補助事業で200万円を限度として100万円を村が負担することで実施している。これについては、まだ今のところ申請者がいない状況である。

【議員】 物価が高騰しているが、増額は検討できないか。

【企画振興課長】 村の予算の範囲内において、工事金額の20%（補助限度額が20万円）となっており、平成26年度から実施している。

【議員】 現在の村が行うリフォーム補助金の状況を尋ねる。

■空き家住宅の改修補助について

**Q** 学生の単独奨学金の創設を。

**A** 移住定住プロジェクトで検討していく。



城本 俊成  
議員

■地方自治体による奨学金についで

【議員】本村は、産山学園という小中一貫の義務教育学校を他市町村に先駆けて取り組んでいる。高校生には、頑張れ高校生等で助成している。その後、繋がりが若干希薄になる。関わりはやはり繋げていくべきだ。

大学等進学した者で、希望者がいれば村単独の奨学金制度で支援していく。

支援を受けた者は、年に1回のレポート提出を義務化し繋がりを継続。返済義務のある貸与型として返済して貰う。卒業後、村に居住・就職をしたり、村が認める企業や官公庁に就職した場合、奨学金の返済を軽減する。そういうことは考えられないか。

【村長】村には奨学金制度そのものがなく、制度の設置がまず必要。そのためには、継続できる原資が重要であるが、幸い、ふるさと創生金を基金として積み立てている。給付型・貸与型の両面で考えていく。

有為な人材を育てていくという旗印の下に、教育改革を行い、今後も実施に向けて検討していく。

【教育長】卒業後に産山村で居住あるいは就労をしてもらえようように誘導・意識・意欲づけは、大切なことである。

奨学金制度がある県内自治体は37市町村、未制度自治体は、産山村を含め7町村。

大学生等は熊本県育英会や日本学生支援機構奨学金等々、利用している状況である。条件付貸与型や給付型には様々な方法がある。一例として、地元に住居して雇用される場合の返還支援金制度もあり、先進事例を精査しながら、既存の日本学生支援機構等の奨学金制度を利用すれば、村独自の奨学金制度の申請事務・審査・返還事務等が不要というメリットもある。村の一貫した支援策を意識づけし高校生も含めて、村に若者を呼び戻す・呼び込む観点から、移住定住プロジェクトチームで精査をしながら、メリット、デメリット、財政状況も考慮しつつ実現できるよう検討していく。

【議員】村の貴重な資金を原資として奨学金制度を導入するわけで、高校生まで対象にすれば、かなりの資金となる。貸与型であれば、返つてきた分が次の原資となるわけであり、給付型は厳しいのではないかと。事務が面倒でもコミットしながら働きかける。原資の問題もあるが、より現実味のある方向で検討していただきたい。

【村長】熊本市・大分市に繋がる中九州横断道路もできる。産山に住んで通勤も可能であるし、農業・地元に通勤する方法もある。産山に帰ってくる・残れるための整備や、学園生に支援することの話し合い。住民の理解や多くの方々の理解をいただきながら、実現できるよう提案していく。





## ■山村留学

【議員】本村は、近い将来、複式学級が増えるの見込まれており、山村留学を以前から提案してきた。8月に山村留学体験が実施されたが、その成果と課題は何か。

【教育長】参加者は、村民の優しさ、産山学園の教育内容と質に魅力を感じており、山村留学の推進に必要な自然環境や学習環境など、産山村は十分な材料を持っている・整っていると認識できた。

課題は、自然体験の企画・提供と、各課連携して複数回の体験会の開催が必要と感じた。



井 春夫  
議員



8月に行われた山村留学体験

【議員】今後の山村留学の実現に向けて、どのような考えなのか。

【教育長】令和7年4月の本格実施に向け、ニーズの把握、受入れ側の意向調査などの把握に努めたい。

また、受入れ体制の整備や指導員の確保が重要になる。来年度から教育に特化した地域おこし協力隊員を募集し、体験会の実施を含め、本格実施の準備をしていきたい。

実現には、地域の方々の理解・協力が必要であり、村民に山村留学の機運が醸し出されるようにしたい。

【議員】山村留学は地域に活気を与えるチャンスであり、早期実現を目指すよう検討をお願いする。



山村留学体験者村内見学風景

## Q 都市と農村の交流を推進しては。

## A 産山の強みを生かし検討する。

## ■都市と農村の交流

【議員】二十歳のつどいで「ふるさと特使」を任命したが、その趣旨や概要は。

【企画振興課長】産山村の出身者やゆかりのある方を「ふるさと特使」として委嘱し、産山村の観光情報のPRをしていただいたり、村の事業モニターやイベントに案内し、提言などを受けている制度である。村民の皆様に必要な概要説明と周知を図ってこの枠を広げていきたい。

【議員】都市と農村の交流促進を、村はどう考えているのか。

【政策統括審議監】産山村の強みを活かした自然・資源・質の高い学校教育や、介護福祉の充実など、相互に連携を図って進めていくことが重要であり、あらゆる施策に対して横断的にそれを検証し、課題を洗い出し、より有効・効果的な成果が得られるように取り組んでいく。

【議員】産山の未来をつなぐため、早急に推進をお願いする。

## Q 空き部屋をどのように活用するのか。

【議員】私なりに、部屋の利用方法を考えたので述べたい。家庭で在宅介護を行う場合、その大変さから様々な問題が出ている。今後、村は、まずまず高齢化の一途をたどり、在宅介護は必ず必要になってくるので、素早くて確かなアドバースをくれる場所にしてはどうか。

【企画振興課長】現在、ひと部屋の空きがある。福祉関連の利用を含め、健康福祉課、社会福祉協議会と協議を進めている。センター全体の施設をより効果的に運用が行えるよう現在計画しているところである。

## A 効率的に運用できるよう検討する。

### ■ふれあいセンター空き部屋の活用方法について



鈴木 健士  
議員

【議員】本年完成した産山ふれあいセンターだが、買い物支援を目的としたうぶマートを第三セクターが管理運営し、移住対策・ふるさと納税対策として、産山村観光協会とうぶやま未来ラボが入居しているが、ひと部屋が利用されていない状況にある。どのような利用方法を考えているか伺う。

【企画振興課長】相談場所ということで、介護を含め福祉全体の話でもあると受けとめた。空き部屋については、健康福祉課、社会福祉協議会と4月冒頭から協議を進めていて、再度貸与的な施設の活用も併せて検討する。

【議員】部屋の利用に関しては、速やかな利用対策を講じていただくと受け取った。次に在宅介護を必要とする家庭にどのような対応ができるのか。

【健康福祉課長】村の介護保険事業の根幹といえるものが、在宅介護である。

介護保険認定の流れは、地域包括支援センター等の助言に基づいて、介護サービスを受ける際に個々の意向を把握しつつ、要介護の認定やサービスの計画を作成し、居宅介護支援事業所と連携し、調整を行っている。

また、配食サービスや外出支援サービスなどの在宅福祉事業等を展開するとともに、社会福祉協議会の買い物支援や民生員の方々による見守り活動などの協力を得ながら、村の在宅介護を担っている。特に社会福祉協議会は、生活困窮対策をはじめ、高齢者の方々の生きがいづくりに向けたゴールドクラ

【議員】先程、食のことを言ったが、ふれあいセンターに在宅介護相談ができるようになれば、介護食品等をうぶマートに注文すると思うし、揃えて置けば、手軽に手に入り売上向上にもなり、コミュニケーションの輪が広がると思うが、いかがか。

ブやかがやき教室などの介護予防事業を実際に行っている。

【健康福祉課長】介護食品については、ケアマネージャー等を通じてきめ細やかに市販品等で対応すればよいと思うが、そこは速やかに株式会社うぶやまと協議を行う。

【議員】今後は高齢化が進んで、家庭での在宅介護が多くなると思うが、村には、患者に寄り添った、家族に寄り添った行政サービスを期待したい。最後に、村長に介護に関して村の思いを伺う。

【村長】家庭で、急に介護が必要になった時に一番困るのは介護する方で、我々の世代もたくさんおられると思う。話の中で、一番相談しやすい場所や人間関係をどうやって築いていくかが一番大事と思う。



地域の拠点として整備されたふれあいセンター

介護認定以前に相談ができるようなサービスについては、やっていない、できなかったという部分もあったが、質問の内容を十分受け止めながら、対応ができるよう考えたい。

今後在宅介護は増えてくるが、それに対応できる人材も少ない中、安心して「産山はよかばい」と言われるように一つ一つ寄り添えるよう体制や対応をしていきたい。

【議員】高齢者やその家族をいかに見守っていくかも再度検討して、住みよい村にしていきたい。

**Q 公務員の不祥事防止対策はどのように。**

**A 研修等を重ね意識向上を行う。**

■職員の意識改革について

【議員】 昨今、公務員の不祥事が取りざたされており、現在のチェック体制、また、不祥事防止に向けた対策を行っているか伺う。



西村 直樹  
議員

【総務課長】 職員については、採用時に市町村研修協議会が行う新規採用研修で、地方自治の事務処理、基本的な知識や技能、さらに地方公務員としての自覚や心構えについて学び、その後、も階層別研修を行い、再度自身自身が確認すると同時に、先輩上司として指導する立場として、部下にどう伝えていくかを取得している。

これからもそのような方法で、まずは地方公務員、つまり全体の奉仕者としての自覚や職員としての在り方、態度、行動や意識について今後も同様に指導していきたい。

**Q 高齢者の見守り状況は。**

**A 各種団体による見守り及び見守りセンサーを活用し実施。**

■新型コロナウイルス感染症の状況について

【議員】 新型コロナウイルス感染症について今年の5月8日以降、感染法上2類か5類に変更された。しかし、最近ではコロナの感染者数が増えてきているとの報道もある。

高齢者や独居老人の方が、もし発症したときの対処法や対策をどのように考えているか。また、見守りセンサーの使用者は何名か。

【健康福祉課長】 見守りの対応であるが、民生委員の月1回以上の見守りを行っている。また、社会福祉協議会による牛乳の月1回の配達又は毎週の買い物支援での把握のほか、外出支援サービスで社会福祉法人に委託し、近況等も含めて、月1回の地域ケア会議で情報の共有をしつつ、緊急性がある場合には対応も行っている。

次に、見守りセンサーの件であるが、対象として概ね65歳以上の必要とする方で、8月末で30世帯の方が利用されている。

**Q 物価高騰による対策が必要では。**

**A 国県への要望を行う。**

■農業振興について

【議員】 現在、飼料や資材の高騰により、畜産農家が大きなダメージを受けて、経営難に落ち入っている。

そこで、物価高騰による経済対策を県や国に要望していただきたい。

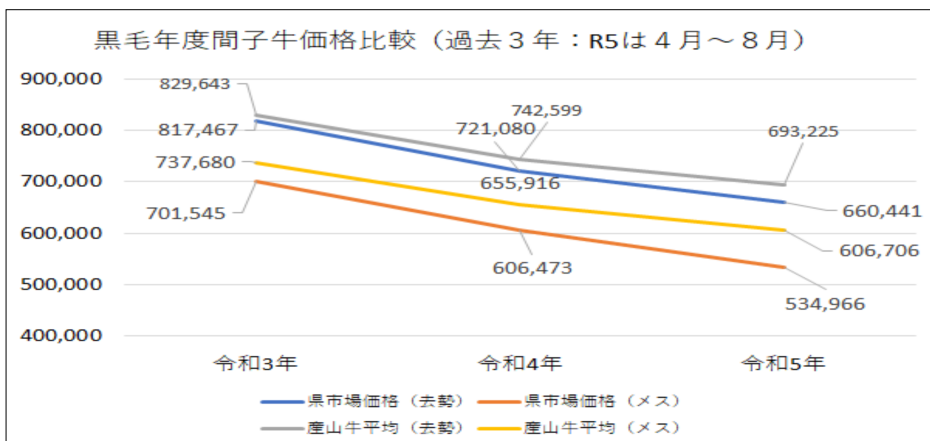
また、村独自の支援策が必要と考えられないか。

【村長】 村も独自に物価高騰に対する農業飼料等に対して十分ではないにしろ、支援をしてきたところである。継続して物価が上がっている状況の中で、国は物価高騰対策、経済対策を行うことと、子育て支援を行うことを大きな柱にしているが、具体的な内容がまだ示されていない。

【議員】 村は畜産業のみならず、農業全般の基幹産業が衰退すると村全体が落ち込むので、ぜひ、国、県に要望していただきたい。

次に、村の村有財産についてだが、直営林・分収林で約227haほどあるが、すでに伐期の時期となっている山林が多く見込まれるため、早期に伐採計画を立てはいかかがか。

【村長】 村では、大径木を育てるということ、100年間は分収林等を伐採しないということになっている。しかし、村全体を見渡すと、管理が行き届いていない森林が多数あるため、森林環境譲与税を活用しながら、適正に管理を行って行くことが必要だと感じている。



# 主な議会活動

月 日	内 容	場 所	参 加 者
8月8日	第7回臨時会 熊本県町村議会議長会理事会（リモート会議）	産山村	議員全員 議 長
8月15日	二十歳のつどい	産山村	議長・総務文教厚生委員長
8月17日～21日	決算監査	産山村	監査委員
8月22日	熊本県町村議会正副議長研修会	熊本市	正副議長
8月23日	例月監査	産山村	監査委員
8月25日	熊本県町村議会新議員研修会	熊本市	新議員
8月26日	消防団通常点検	産山村	議員全員
8月29日	総務文教厚生常任委員会 経済建設常任委員会 熊本阿蘇幹線道路期成会総会	産山村 産山村 大津町	総務文教厚生委員 経済建設委員 議 長
9月5日	第6回全員協議会	産山村	議員全員
9月8日～15日	第8回定例会	産山村	議員全員
9月11日	第7回全員協議会	産山村	議員全員
9月21日	例月監査	産山村	監査委員
9月24日	中九州・地域高規格道路大津熊本道路着工式	合志市	議 長
9月25日	ヒゴタイ交流歓迎式典 阿蘇広域行政事務組合研修会	産山村 阿蘇郡市内	議員6名 広域議員
9月27日～29日	阿蘇市町村議長研修	奈良・京都	議 長
9月30日	産山村人会	熊本市	議員全員
10月3日	戦没者追悼式 第8回全員協議会 第9回臨時会	産山村	議員全員
10月6日	熊本県町村議会議員研修会（リモート研修） 熊本県市町村総合事務組合議会	産山村 熊本市	議員7名 議 長
10月12日～13日	熊本県町村議会議長会理事会	美里町	議 長
10月13日	第8回かたらんネ！阿蘇2023	熊本市	議員全員
10月14日	産山村・南小国町・小国町議員研修会	小国町	議員全員
10月24日	一般国道442号道路整備促進期成会総会	竹田市	議 長
10月24日～25日	全国監査委員研修会	東京都	監査委員
10月26日	阿蘇広域行政事務組合定例会	阿蘇市	広域議員
10月27日	阿蘇市町村議員研修会	小国町	議員全員
10月31日	森林・林業・林産業活性化九州大会	熊本市	正副経済建設委員長

## 編集後記

村民の皆様、いかがお過ごしでしょうか。稲刈りが終わって、やっと気温も下がってきて、秋らしい季節となりました。さて、今年のヒゴタイ公園では、秋の青空に白やピンクの約30万本のコスモスが咲き乱れ、多くの観光客が訪れるなど、見応えのある素晴らしい眺めでした。

新型コロナは、減少傾向が続いてますが、インフルエンザが流行しているようです。村民の皆様も体調管理には十分注意いただき、ご自愛ください。

### 広報特別委員会

委員長 岩下 徳行      副委員長 城本 俊成  
委員 井 芳美      委員 鈴木 健士

発行責任者 議長 西澤 正

編 集 広報特別委員会

発 行 産山村議会

熊本県阿蘇郡産山村山鹿488番地3

☎0967-25-2635

